

(仮称) 北小中一貫校を設計するにあたり、以下のことが大切であると考え、メディアスペースを計画しています。

- 廊下から見えるように、特別教室と連携した教材・作品展示の場を設けることで、日常の学校生活の中で、教科に対して、こどもたちが好奇心を誘発するスペースの確保が重要と考えます。
- 施設一体型小中一貫校として、小学生と中学生が特別教室を共有又は隣接して利用することが特徴です。1～9学年の様々な作品に触れることができるとともに、交流空間としても機能するスペースの確保が重要と考えます。



●収納棚、テーブル、ベンチの組み合わせイメージ

- 地域の食材紹介や学校菜園でとれた野菜の展示等を行うことができます。

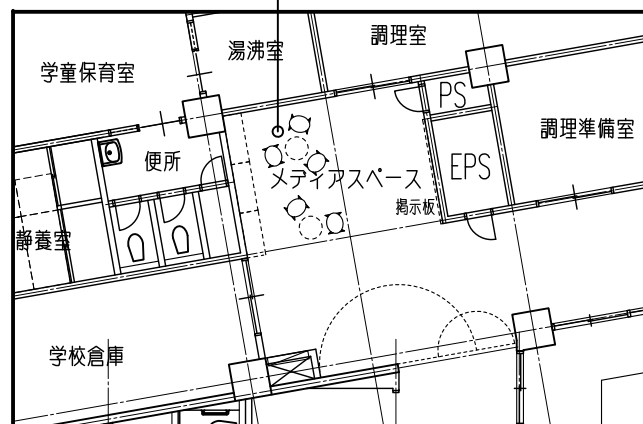


●食育の展示イメージ

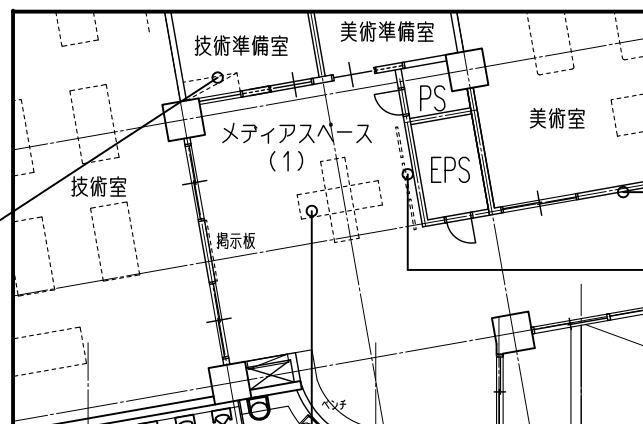
- 技術科や美術（図画工作）の授業で作成した作品を展示できるような、展示棚等を設けます。



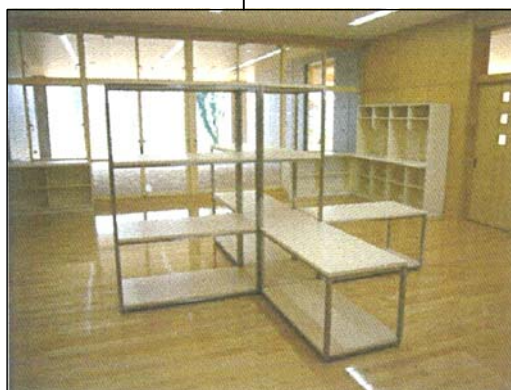
●準備室の壁面を利用した展示棚イメージ



<1階 調理室前 メディアスペースイメージ>



<3階 技術室・美術室前 メディアスペース(1)イメージ>

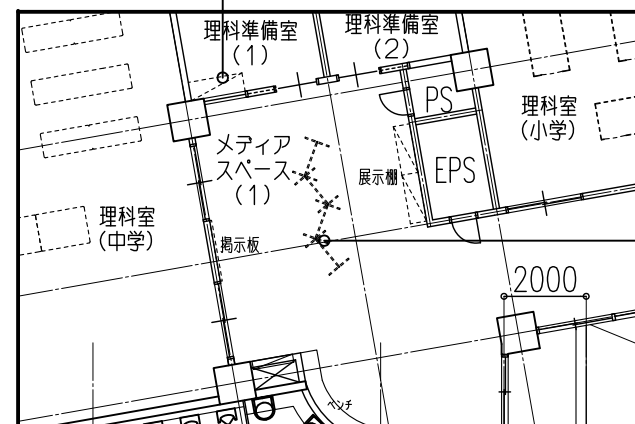


●展示棚イメージ

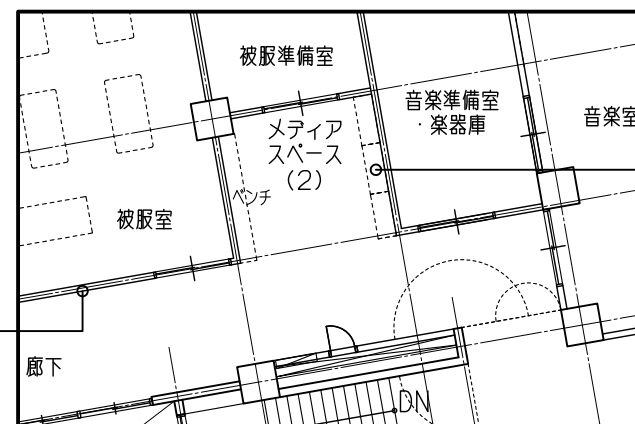


●準備室の壁面を利用した展示棚イメージ

- 理科の授業で使用する教材等を見えるように展示することで、こどもたちに関心をもたせます。



<2階 理科室(中学)・理科室(小学)前 メディアスペース(1)イメージ>



<3階 音楽室・被服室前 メディアスペース(2)イメージ>



●絵画の展示イメージ



●壁面を利用した作品展示イメージ



●可動掲示板を用いた教材展示イメージ

- 可動式の掲示板を活用し、必要に応じて、児童生徒の作品展示を行います。



●展示棚イメージ

- 音楽発表会の写真の掲示や、被服で作成した作品の展示場所を確保するとともに、ベンチを設置する等、こどもたちの交流スペースとして計画します。

- 廊下に面した壁面は、掲示ができるようなしつらえとします。(掲示クロスやピクチャーレールの設置等)